



県消防学校に一日入校 消防団幹部が教育訓練

町消防団（長岡宏団長・団員308人）の県消防学校一日入校が10月2日に行われ、本部員および各分団長など30人が参加しました。

この一日入校は町消防団幹部を対象に、地域住民への防災指導とともに団員に対する指導力の向上を目的として開催されました。

礼式部隊訓練では歩き方や整列などの基本動作、講義では火災防御や現場での指揮者の心構えを学びました。

第3分団長の葦名浩幸さんは「経験豊富な教官の説明は勉強になった。現場で役立てたい」と意気込んでいました。

熱心に講義を受ける町消防団幹部の皆さん
(矢巾町・県消防学校)



葛高生が仮設住宅訪問 杉皮細工で交流深める

県立葛巻高等学校（菊池優校長・生徒142人）の生徒16人は10月13日、復興交流ボランティア活動として山田町船越の浦の浜仮設団地集会所を訪問。20人の仮設住宅入居者と一緒に葛巻町産の杉皮を使ったカゴ作りを行い交流を深めました。

事前に漆真下トヨさん（橋場）からカゴ作りの指導を受けた生徒たちは、会話を楽しみながら、約2時間の交流に充実した表情を見せました。

中六角彩花さん（同校2年）は「皆さんに少しでも笑顔になってほしいと思い参加しました。カゴ作りは難しかったけど喜んでもらえて良かった」と笑顔で話しました。

会話を楽しみながら二人一組でカゴ作りを行う葛高生と仮設住宅の入居者

サクラソウ保護しよう 小屋瀬中生が看板設置

小屋瀬中学校（田口秀一校長・生徒21人）の総合学習ボランティア活動が10月23日、只見地区で行われ、県レッドデータブックに指定されている希少植物「サクラソウ」の保護を呼びかける看板を設置しました。

この日の活動には同校サクラソウグループの生徒8人が参加。「守ろうサクラソウ」や「サクラソウ観察中」など事前に手作りした看板10枚をハンマーを使って丁寧に設置しました。

千葉忍さん（同校3年）は「これまで行ってきた保護活動をしっかり後輩たちに引き継ぎ、これからもサクラソウを大切に保護して行ってほしい」と強調しました。



サクラソウ保護を呼びかける看板を設置する小屋瀬中の生徒

町内中学生と田野畑中 合唱や伝統芸能で交流

町の3中学校と田野畑中学校との4校交流会は10月10日、葛巻中学校体育館で行われました。

この交流会は東日本大震災の復興を担う世代としてお互いの絆を深めようと昨年からは開催されているもので、今回は4校の全校生徒と教員など約280人が参加。学校紹介や合唱、伝統芸能を通して交流を深めました。また、葛巻中は体育祭などで集めた募金を、江刈中は学校農園で育てたカボチャやサツマイモなどの野菜を田野畑中へ贈りました。

江刈中生徒会長の長朶祐二さんは「この交流会を心に焼き付け、飛躍につなげていこう」と言葉に力を込めました。



力強く響き渡る田野畑中の生徒による「復興太鼓」



反射材ストラップをバッグに取り付ける木戸場さん[㊦]

夜間の事故にご注意を 高齢者に反射材を配布

10月22日、高齢者の交通事故防止推進期間にあわせて、地域交通安全活動推進委員の木戸場弘祐さん（小苗代）と葛巻駐在所の畠山和夫所長が葛巻病院で高齢者に対し反射材などを配りました。

夕暮れが早くなるこの時期に、一人一人にチラシを手渡し、靴のかかとに反射材テープ、バッグに反射材ストラップを取り付け、事故防止を呼びかけました。

木戸場さんは「今年は町内で交通事故が多発しています。事故防止のため、暗くなってから外出するときは必ず反射材を着用してください」と呼びかけました。



ほうきの編み方について、初心者丁寧に指導する達人の皆川さん[㊦]

初心者から上級者まで 皆で楽しむほうき作り

ほうきの会（皆川竹男代表・会員29人）のほうき作り講習会が10月11日、江刈農村センターで行われ、同会の会員20人が参加しました。

講師は同会代表でほうき作り達人の皆川さん。参加した会員は初心者から10年以上作っている上級者までさまざま。同会が栽培・収穫したほうき草を両手両足を使って、丁寧に編み込んでいました。

初参加の南館則江さん（小屋瀬）は「昔からの技を地域の皆さんと受け継いでいきたいと思い参加しました。難しいけど、ほうき草のいい匂いがして楽しい」と夢中になって取り組んでいました。